
「心筋梗塞に合併した心室中隔穿孔に対する経右心室修復と経左心室修復の外科治療成績の比較検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの電子カルテの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2023年6月30日の期間に埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科を受診し、心室中隔穿孔の手術修復を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

心室中隔穿孔の手術はリスクが高く、再発率も高いなど、最善の手術方法が確立されていません。左室切開法と右室切開法の長所と短所をそれぞれ明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2023年12月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテから、年齢、性別、合併症の有無、腎不全、透析、人工呼吸時間・日数、経皮的心肺補助装置（PCPS）の有無、脳梗塞、塞栓症、心機能、エコーでのEF、左室径、左室機能、右室機能、運動異常、所見、冠動脈病変部位、シャント率、再発、再入院、再手術、弁膜症、心不全、心筋梗塞、採血結果（クレアチニン、ビリルビン、CK、CK-MB、AMY）、発症日、手術日、術後入院期間、ICU日数、手術術式、手術時間、心停止時間、人工心肺時間、生存、死亡・死亡日、外来の受診日を調査します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である中嶋博之が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから情報を収集します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之（研究代表者）

お問い合わせについて

ご自身あるいはご遺族のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：心筋梗塞に合併した心室中隔穿孔に対する経右心室修復と経左心室修復の外科治療成績の比較検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之